

1. 評価結果概要表

作成日 2008年4月18日

【評価実施概要】

事業所番号	1290400066
法人名	有限会社リナ
事業所名	グループホーム月の里
所在地	〒265-0051 千葉県千葉市若葉区中野町727-1 (電話) 043-228-7005

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階
訪問調査日	平成20年4月18日
評価確定日	平成20年5月

【情報提供票より】(20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年2月1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	16 人
利用定員数計	18 人
常勤	4人, 非常勤 12人, 常勤換算 6.5人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄筋平屋建て
	1 階建ての 1 階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他	食費45,000, 水道光熱費20,000, 理美容代, おむつ代など	
保証金の有無(入居一時金含む)	200,000円	有りの場合	有(期間:2年)	
	生活保護受給者180,000円	償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	14 名	男性	8 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 74 歳	最低	65 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹村内科医院 都賀デンタルクリニック
---------	--------------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成19年2月に1ユニットで開設し、同年8月に2ユニット目完成の新しいホームである。若葉区中野の緑豊かな静かな環境に建ち他にグループホーム星の里、グループホーム中野をはじめ計4つのホームとデイサービス、更に近隣市町村に2ホーム増設計画をしている。同ホームは他のホームで受け入れ困難な方や、医療処置が不可欠な方、生活保護の方等を率先して受け入れており「駆け込み寺」と市町村に頼りにされている。スタッフは近隣の主婦が多く、優しく暖かなホーム内の雰囲気と手料理に見学に来て、そのまま入居した方がいるというエピソードもあるとか。地域の方からは、採れたての野菜や筍など多くの差し入れがあり、地域に根付いた運営に心がけられている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今年度が初の外部評価受審のため、前回の改善課題なし。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義や目的を伝え、全員で自己評価に取り組むようにしている。外部評価は初の受審であるが、問題点が発見された際には、改善に向けて取り組むようにしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は一回開催実績があり、しっかり議事録も取られている。今後は3ヵ月毎に開催を予定している。また、運営推進会議で取り上げられた検討事項や懸案事項はミーティング等で話し合われている。会議へは家族代表、民生委員、自治会長、あんしんケアセンター、管理者、計画作成担当者、事業者代表が出席し、忌憚のない意見交換がなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月、家族あてにスナップ写真を織り交ぜた「月の里だより」を送付し、近況報告している。また、生活保護を受給している入居者は、生活保護担当者へ報告をしている。家族には手紙や訪問時、運営推進会議等で職員から積極的に問いかけ、何でも行ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。意見や要望はミーティングで話し合い反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の老人会や敬老会への積極的な参加とともに、ホーム行事や沖縄踊り等のボランティア訪問時には地域の高齢者を招待し、ともに楽しんでいる。また、近くのお寺が散歩コースとなっており、行き会おうと声をかけ合っている。

2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認知症によって自立した生活が困難になった入居者の方々に対して安心と尊厳のある生活を支援する。地域の方々と共に学び合い育ち合い支え合える社会の構築を目指します。」を掲げ職員全員で確認しあっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には必ず理念を伝え、理解してもらうようにしている。また、玄関をはじめホーム内随所に掲示し共有を図っているが、職員間で理念を掘り下げて意見交換する場が確保されていなかった。		ミーティング時や問題があった時には随時会議を開催するとのことであるが、定期的には開催されていない。会議の開催や記録類にそれぞれの職員が閲覧をしたしとして、サインや捺印をするのがよいと思われる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会や敬老会への積極的な参加とともに、ホーム行事や沖縄踊り等のボランティア訪問時には地域の高齢者を招待し、ともに楽しんでいる。また、近くのお寺が散歩コースとなっており、行き会うと声をかけ合っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を伝え、全員で自己評価に取り組むようにしている。外部評価は初の受審であるが、問題点が発見された際には、改善に向けて取り組むようにしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は一回開催実績があり、今後3ヵ月毎に開催を予定している。運営推進会議で取り上げられた検討事項や懸案事項はミーティング等で話し合われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当課へは随時連絡を取り、協力が得やすい体制作りを心がけている。また、社会福祉協議会の地域権利擁護事業や生活保護の担当者とも連絡を密に取っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、家族あてにスナップ写真を織り交ぜた「月の里だより」を通じ近況報告している。また、生活保護を受給している入居者は、生活保護担当者へ報告をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には手紙や訪問時、運営推進会議等で職員から積極的に問いかけ、何でも行ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。意見や要望はミーティングで話し合い反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に顔馴染の職員のケアに心がけている。異動や離職がやむを得ない場合は、最善の努力をしている。また、入居者と共に送別会を開催した事例もある。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、法人の代表取締役が職員の力量を見極めて割り振り、受講できるようにしている。内部研修では、介護の研修を中心に研修の機会が確保されている。		様々な研修に参加しているが、各職員の成長段階の把握まではされていない。全職員が必要最低限のスキルを身に付けられるよう、年間研修計画を作成し、効率的に職員を育成することが期待される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉県、千葉市グループホーム連絡会や、系列のグループホーム合同の勉強会や交流を持つことにより、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族にはホームを見学してもらったり、自宅にホーム職員が出向いたり、入院されている方には入院先に面会に行くなどしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者は人生の先輩、人として対等であるという考え方を職員が共有しており、入居者から学んだり、共に支え合える関係づくりに留意している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活困難で孤独な入居者も多く、職員は新しい家族として、一人ひとりを暖かく受け入れている。又、生きてきた過程を大切に受け止めた上で、思いや意向に耳を傾け、入居者本位に対応している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>病気治療中や介護度の高い入居者も多い事から、健康回復や生活能力の維持向上を目指して、職員間で常に話し合い、介護計画に反映している。また、日々の体温測定をグラフで表すことで体調の変化を確認でき、受診時にも活用している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>半年毎に介護計画の見直しを行っているが、入居者の状態に合わせて臨機応変に計画の見直しを行うようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を生かして、半月に一度、認知症にも詳しい精神科医の訪問診療を受けている。他に訪問歯科の受け入れや、医療処置を受けながらの生活維持のケースもある。また、ホーム独自に調理専門の職員も配置している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の希望に応じてかかりつけ医の受診をしている。また、ホームと協力医療機関との連携は密であり、きめ細かな対応がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者や家族の意向を尊重し、ホームで最期を看取る方針である。終末期の対応などについて、医療機関とも連携しながら職員の体制を整えようとしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は入居者一人ひとりの気持ちに配慮して言葉かけを行っている。身体介護の必要な場面では、他の入居者の目に触れぬ様配慮している。また、個人情報の取り扱いにも管理者及び職員が責任を持って管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活の流れに沿って、入居者一人ひとりの気持ちを大切にしながら無理の無いように対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時には全員食堂に集合して食事を心待ちにする様子がみられる。ホーム自体がまだ新しいため、食事準備など入居者と職員と一緒に活動する場面は少ないが、出来る人には茶碗洗いや下膳等を手伝ってもらっている。職員のうち1名が入居者と食事を共にするようにしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回の入浴日は決まっているが、入浴時間の希望には添うようにしている。柚子や菖蒲等用いて季節感を出し入浴が楽しめるようにしている。		自立で入浴出来る入居者に対しては曜日を決めず、いつでも入浴が楽しめる体制が望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や食事の下膳等簡単な家事を職員と共に行うことで、生活に張りが生まれる様に配慮している。絵や習字折り紙など得意な入居者には製作に励んでもらっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の寺までが散歩コースとなっており、天気の良い日には出かけている。体調によっては、ホームの庭の椅子に座り花を眺めながら外気浴する場合もある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けないケアに取り組んでいる。外出しようとする入居者の行動をむやみに制限せず、本人の気持ちに添って言葉かけをし、行動を見守る様にしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	初めての消防訓練、避難訓練実施の際には近隣一軒一軒にチラシを配って協力を呼びかけた。今後は自治会にも働きかけ地域と合同の消防訓練も実施したい。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量や食事量のチェック表を職員が共有し、入居者一人ひとりの状態にきめ細かに対応している。また、調理専門の職員を配置する等調理に力を入れているが、栄養の専門的観点からの定期的チェックはまだ受けていない。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物全体がバリアフリーとなっており安全に配慮され、明るく清潔感がある。壁に飾られた作品にも入居者一人ひとりを大切にする職員の思いが感じられる。食堂では、入居者同士がソファーでくつろぐ姿がみられる。		壁面の飾りをもう少し控えたほうが、より家庭的で落ち着いた雰囲気が生まれるような印象をうける。又食堂の掛け時計も入居者から見やすい位置に、見やすい大きさに工夫が望まれる。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はその人らしさに配慮して、入居者の好みに応じて家具や寝具が調えられている。		